



看護部 N-MEC 秋たより

R4.10.1 発行

長崎大学病院からのN-MEC事業も、半年が経ちました。4月から7月の第1クールを終え、8月からは第2クール目の部署での研修に入っています。部署異動と同時に病棟では、コロナ感染患者の対応で、毎日慌ただしく、あっという間に2ヵ月が過ぎようとしています。3人の部署での活躍を紹介します。

2階病棟・浅井さん

2階病棟に移り、日々の業務に追われ、めまぐるしく時が過ぎていきます。配属当初はコロナの患者を担当し特定行為どころではありませんでしたが、少し落ち着いてきたので、今後は計画的に特定行為が出来るように取り組んでいきたいと思えます。



経管栄養が必要な患者さんが、いっぱいです

褥瘡回診で、壊死組織のデブリードマン中です



3西病棟・隅田さん

8月はコロナ患者の対応に追われ、緊張の連続でした。回復期リハビリテーション病棟では、多職種とのカンファレンスが多く、9月は受け持ち患者も持ち、退院支援にも取り組んでいます。

リハビリカンファレンス中です



ミトン装着患者が多く、解除に向け多職種で検討中です



3東病棟・岩隈さん

3階東病棟に異動して2ヵ月が過ぎようとしています。まだ、戸惑う事や分からないことが多く、スタッフの皆さんに助けられながらなんとか業務を行っています。残り2ヵ月、3階東病棟スタッフの一員として地域に根差した看護を実践できるように頑張ります。

看護計画立案に奮闘中です



医療安全委員として、ラウンド中です

